

中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

中国・四国ブロック内のHIV感染者・AIDS患者の報告数は、全国の動向と同様の動向で、平成21年は減少したが、平成22年は増加している（図1、図2）。

なお、中国・四国ブロックでは、AIDS患者報告数が過去最高となっている。

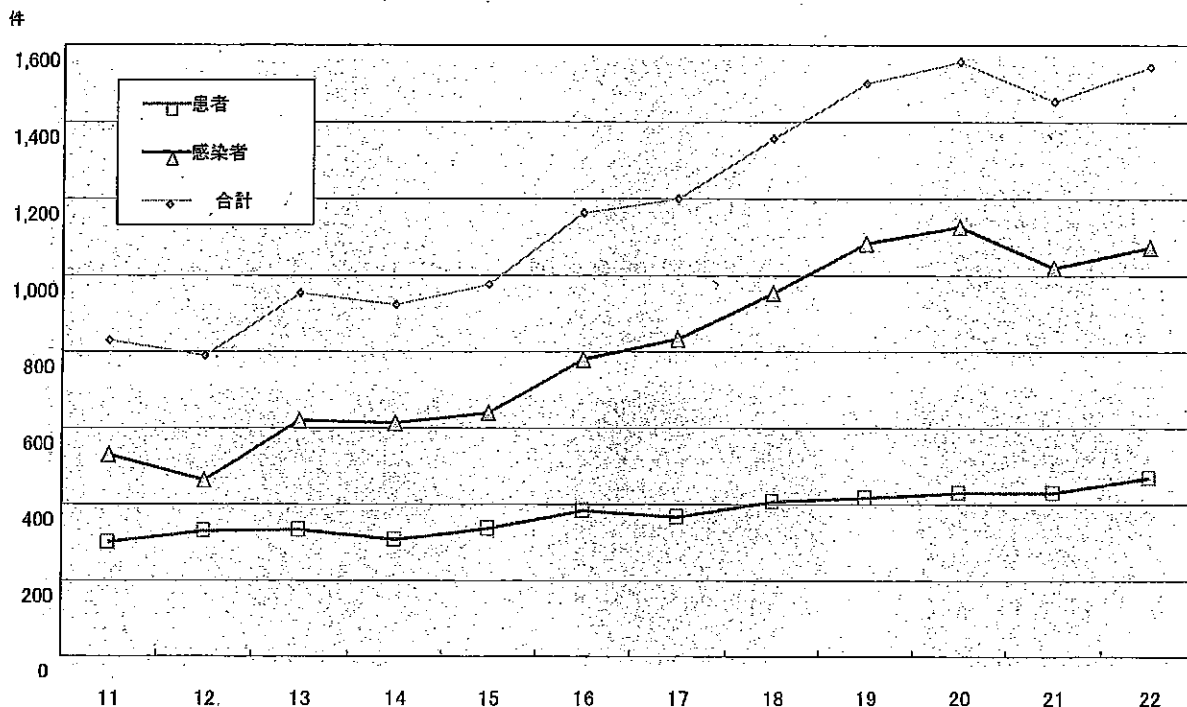


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

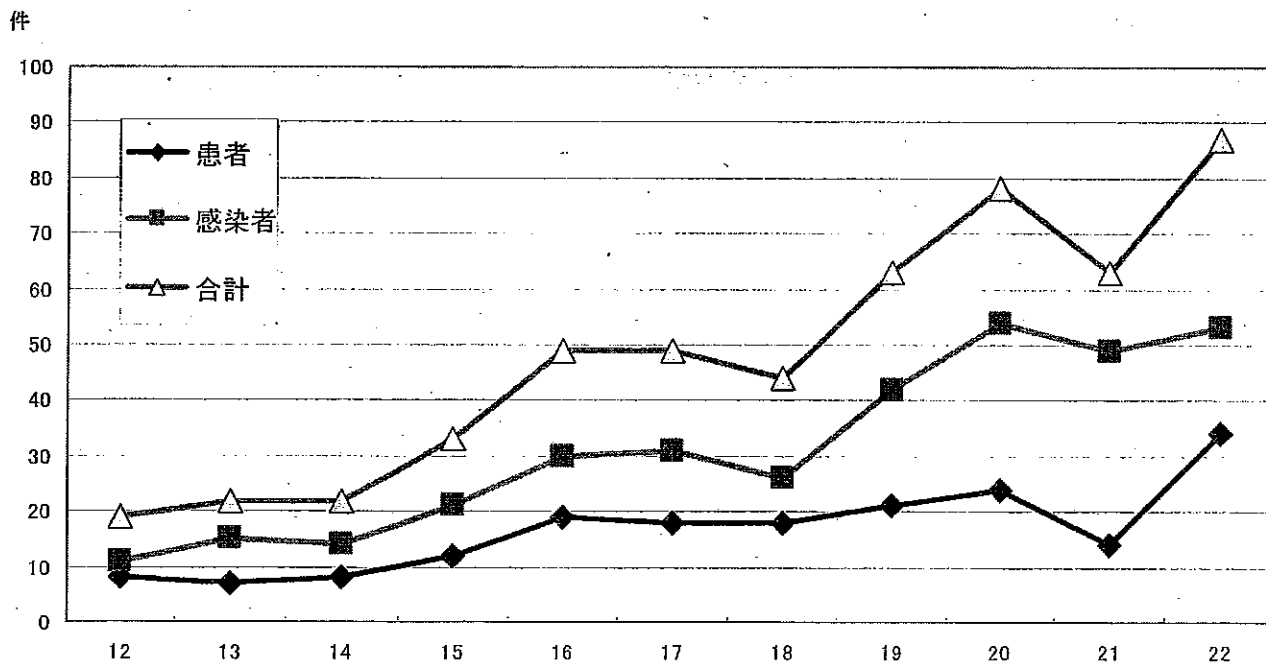


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(全国 H22 年報告)

(1) HIV感染者について

全国で平成 22 年に報告された HIV 感染者の感染経路は、異性間の性的接触が 195 件 (18.1%)、同性間の性的接触が 744 件 (69.2%) と、性的接触によるものがあわせて 939 件 (87.3%) と大半を占めている (図 3)。

(2) AIDS患者について

全国で平成 22 年に報告された、AIDS 患者の感染経路は、異性間の性的接触が 127 件 (27.1%)、同性間の性的接触が 230 件 (49.0%) と性的接触によるものがあわせて 357 件 (76.1%) と多くを占めている (図 4)。

図 3 全国のHIV感染者の感染経路別内訳

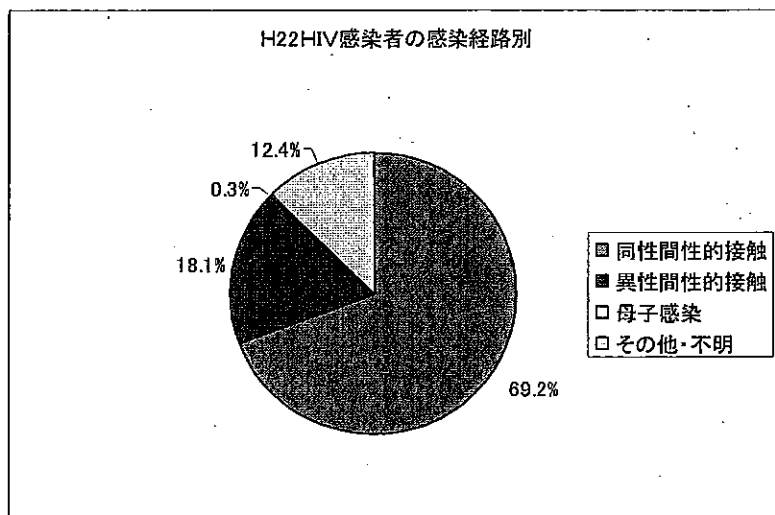
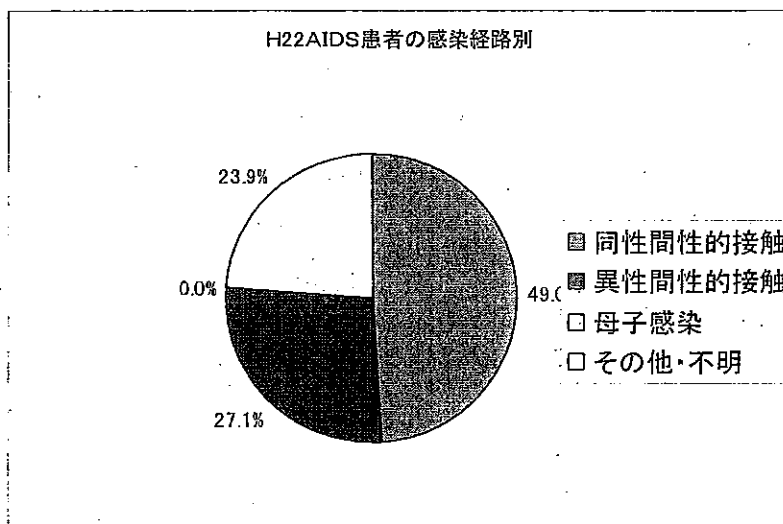


図 4 全国のAIDS患者の感染経路別内訳



3 無料匿名検査及び相談

中国・四国ブロック内の自治体における無料匿名 HIV 抗体検査件数、相談件数とも、平成 20 年まで増加していたが、平成 21 年、22 年では、減少している（図 5）。

このため、保健所等における HIV 抗体検査・相談を引き続き推進、周知する等の取り組みが必要である。

なお、平成 23 年第 1 四半期では、中国・四国ブロック全体（第 1 四半期で比較）では、相談件数は、H22 年で 3,265 件であったのが、H23 年では、3,579 件（表 1）。HIV 抗体検査件数は、H22 年で 1,780 件であったのが、H23 年では、2,067 件（表 2）と増加している。

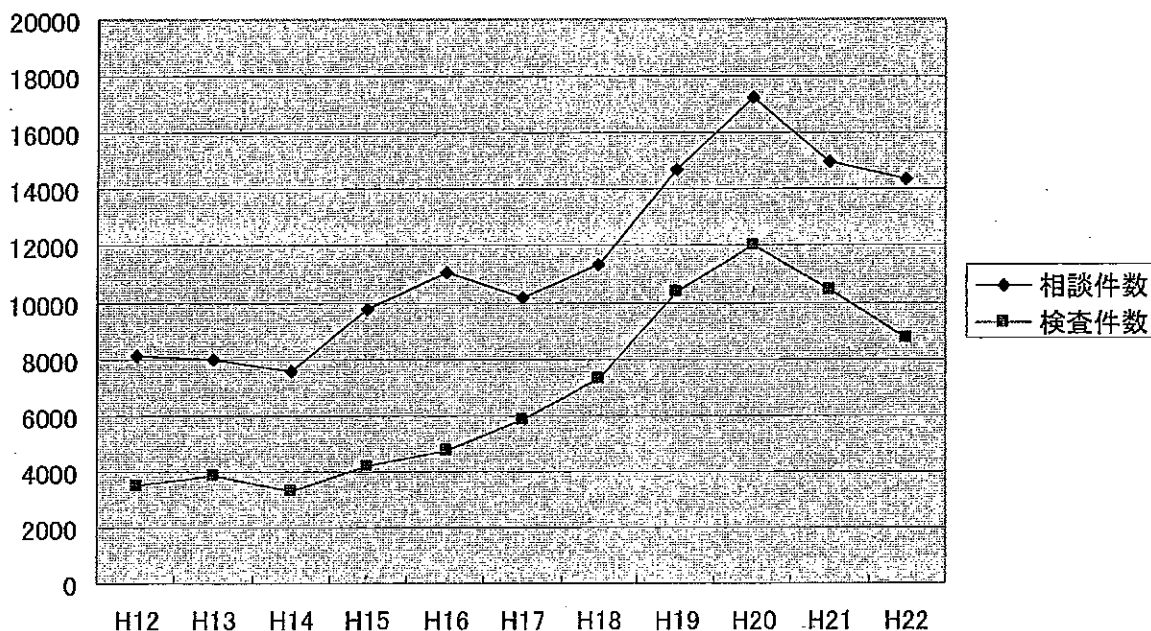


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次

相談	検査	
	H22第1四半期*	H23第1四半期*
鳥取県	19	3
島根県	72	155
岡山県	741	678
広島県	1,411	1,612
山口県	173	252
徳島県	237	207
香川県	289	266
愛媛県	304	382
高知県	19	24
計	3,265	3,579

検査	相談	
	H22第1四半期*	H23第1四半期*
鳥取県	119	136
島根県	75	86
岡山県	207	234
広島県	524	699
山口県	220	255
徳島県	181	160
香川県	106	87
愛媛県	244	293
高知県	104	117
計	1,780	2,067

*第1四半期とは、1月から3月のこと

表 1 中国・四国ブロックの相談件数
(H22 と H23 の比較)

表 2 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数
(H22 と H23 の比較)